

平成28年度事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

I 事業概要

平成28年度は通常事業の他、重点項目を次のとおり設定し、実施した。

1 適正飼養の普及啓発を行う指導者の増加対策

- ①全国各地における普及啓発事業を展開できる人的体制整備としての愛玩動物飼養管理士
通信関係事業にかかる広報の拡大展開（ウェブ広告、専門学校への周知など）。
- ②1級愛玩動物飼養管理士の支所活動実績等を評価するための顕彰制度として創設した上級
愛玩動物飼養管理士（Active Pet Care Advisor）制度の着実な運用。

2 多様な機会や手段を活用した適正飼養の普及

- ①飼い主に対して、直接、適正飼養等の知識に関する研修教育を実施する仕組みとしての
「ペットオーナー検定」の実施。
- ②各種ペット関連団体を対象にした適正飼養活動推進のための助成事業の実施。
- ③機関誌の内容の充実、図書館等の関係各所における機関誌の配置やイベント等での配布。
- ④ペットの実践的飼育手法を教育する愛犬飼育スペシャリストの実施。
- ⑤ペット共生マンションの整備及び管理運営方法の適正化を推進するための事業の着手。
- ⑥適正飼養の普及啓発指導を行うことができる人材を育成するための愛玩動物飼養管理士以
外の教育事業の検討。

3 人と動物とが共存する社会基盤づくりの推進

- ①全国ペット・ツーリズム推進連絡協議会の事務局運営。
- ②大学等における適正飼養の普及に関する講座等の実施。

4 適正飼養の普及啓発を効果的・効率的に実施可能な組織体制の整備

- ①部課制に移行した事務局及び業務執行理事会を中心とした事務の執行体制の着実な運営。
- ②受講受験関係業務の効率化・合理化を図るための事務所の整備及び災害時等のリスク分
散を図るための諸体制の検討。
- ③嘱託職員を配置した「支所」の運営と支所協力会員の募集・登録。

II 業務内容

1 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発事業

1) 国及び地方自治体の事業への協力

(1) 環境省等の関係行政機関が主催する動物愛護週間行事等への協力：中央行事

①動物愛護週間ポスターの配布

環境省が作成した動物愛護週間ポスターをスクール及び各都道府県の支所長に配布し、動物愛護精神の高揚を図った。

②中央行事：動物愛護ふれあいフェスティバル

平成28年9月17日(土)・24日(土)に環境省、東京都、台東区、本協会を含む動物愛護関連公益法人等によって組織された動物愛護週間中央行事実行委員会の主催による「動物愛護ふれあいフェスティバル」を「譲渡でつながろう！命のバトン」のテーマのもとに開催した。

- ・屋外行事：9月17日(土)、東京都台東区上野恩賜公園内不忍池周辺の行事内容
動物愛護ふれあいフェスティバル(来場者5,000名)

会場	内容
野外ステージ	動物愛護セレモニー、〇×クイズ大会、動物のふれあい方教室、柴犬まると小野慎二郎氏による「愛犬と楽しく暮らすためのヒント」、愛犬のしつけ方教室
パネル展示コーナー 中テント	動物愛護週間ポスターコンクール入賞作品展、迷子札手作り体験コーナー、全国ペット写真コンテスト入賞作品展ほか
ブース広場	災害対策コーナー、マイクロチップ啓発コーナー、ペット美容実演、動物相談コーナー、ペットフード等サンプリング、ブース出展社による各種展開、お絵描きコーナー、アニマルフォトスタジオ ほか
抽選コーナー	スタンプラリー

野外ステージでは、東京都支所が「〇×クイズ大会」「動物のふれあい方教室」を担当し、犬、猫、小鳥、小動物に関するクイズの出題や図解したボードを用いてふれあい方の説明を行った。

- ・屋内行事：各団体表彰式、動物愛護シンポジウム(来場者248名)

中央行事実行委員会の主催により、9月24日(土)に、上野公園内東京国立博物館平成館講堂にて、各団体の表彰式と講演を開催した。

(2) 関係地方自治体の動物愛護センターや保健所等が行う普及啓発事業への協力

地方自治体が実施した下記講習会に本協会が講師等を推薦した。

組織名	日程等	研修会、講習会の内容
横浜市	平成28年6月11日	「ペットの防災対策講演会」(一般向け)

山梨県	平成28年7月23日	「動物愛護推進員研修会」(推進員向け 動物福祉・接遇)
郡山市	平成28年8月20日 ・9月10日	犬および猫の飼い方講習会(一般向け)
千葉市	平成28年7月14日	飼い犬のしつけ方教室(一般向け)
栃木県	平成28年10月7日・14日・18日・平成29年2月16日・21日	「第1種動物取扱責任者研修会」(第1種動物責任者向け 防災)
横浜市 栄区	平成28年12月15日 ・20日	猫の飼い方教室(一般向け)
徳島県	平成29年3月11日	「動物愛護セミナー2017」(一般向け 防災)
名古屋市	平成29年3月13日	動物愛護推進員養成講習会(推進員向け 接遇等)

(3) 本協会会議室の提供

一般財団法人ペット災害対策推進協会、全国ペットツーリズム連絡協議会等に本協会の会議室を提供した

2) 動物の愛護及び適正な飼養管理に関する知識等の普及啓発を行う指導者の養成と教育

(1) 愛玩動物飼養管理士通信教育の実施

2級愛玩動物飼養管理士(36期)及び1級愛玩動物飼養管理士(32期)の通信教育を実施した。平成28年度申込の愛玩動物飼養管理士の新規受講者総数は9,855名であり、前年度比約101.3%(131名増加)となった。

内訳は、一般個人受講者数が3,593名で前年度比106.5%(220名増)、企業団体受講者数は225名で前年度比123.0%(42名増)、スクール・団体受講6,037で前年度比97.9%(131名減)となった。

一般個人受講者数の増加については、1級の受講者数が前年度の2級受講受験者数が減少した影響から減少したものの、2級の受講者が379名増となったことから増加に転じた。

総体としては、春募集、夏募集ともに前年度比、ほぼ横ばいで推移しており、スクール・団体の減少を一般個人がカバーする結果となった。

(カッコ内は夏期申込者数)

受験級	受講者数	受講者構成	受講者数	構成比(%)
1級	1,431(58)	一般個人	3,593(1,115)	36.5%
2級	7,747(1,081)	企業団体	225(1)	2.3%
準2級	677(48)	スクール、団体	6,037(71)	61.3%
計	9,855(1,187)	計	9,855(1,187)	100.0

(2) 平成28年度認定試験の実施(11月、2月)

春期申込の試験は11月27日(日)、一般会場35会場、独自会場14会場、夏期申込の試験は2月26日(日)、一般会場11会場、独自会場7会場で実施。

認定試験実施結果 (カッコ内は29年2月認定試験)

受験級	受験資格者数	受験者数	合格者数	合格率 (%)
1級	1,607(213)	1,482(171)	1,181(107)	79.7
2級	9,089(2,521)	8,403(2,265)	6,735(1,736)	80.1
準2級	768(148)	752(146)	493(82)	65.6
計	11,464(2,882)	10,637(2,582)	8,409(1,925)	79.1

(3) 愛玩動物飼養管理士養成制度の指定校・採用校、企業との協力

①学校法人等との協力 (指定校・採用校)

平成28年度の愛玩動物飼養管理士採用校は119校 (内新規2校) となった。

愛玩動物飼養管理士養成指定校は、合計30校 (内新規1校)。

・新規採用校

東京コミュニケーションアート専門学校 ECO 校舎、静岡県立田方農業高等学校

・新規指定校

名古屋スクールオブビジネス

・既存指定校

学校法人吉田学園 吉田学園動物看護専門学校、学校法人高橋学園 エス・ワン動物専門学校、学校法人工藤学園 愛犬美容看護専門学校、盛岡ペットワールド専門学校、学校法人菅原学園 仙台総合ペット専門学校、学校法人孔明学園 東北愛犬専門学院、群馬動物専門学校、専門学校ちば愛犬動物フラワー学園、学校法人東京愛犬学園 東京愛犬専門学校、横浜トリミングスクール、国際ペットワールド専門学校、専門学校 ルネサンス・ペット・アカデミー、学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ、リバティペットケアカレッジ、京都動物専門学校、ナンバペット美容学院、学校法人穴吹学園 穴吹動物専門学校、専門学校穴吹動物看護カレッジ、九州ペット美容専門学院、学校法人宮崎総合学院 宮崎ペットワールド専門学校、沖縄ペットワールド専門学校、名古屋スクールオブビジネス、学校法人 大阪ビジネスカレッジ専門学校、広島情報ビジネス専門学校、河原アイペットワールド専門学校、東京都立園芸高等学校、岡山理科大学附属高等学校、沖縄県立中部農林高等学校、群馬県立勢多農林高等学校

②企業取りまとめによる受講受験申込

平成28年度は、11社より企業取りまとめによる受講受験申込があった。

イオンペット株式会社、株式会社あらた、エコトレーディング株式会社、株式会社ジョイフルエーカー、株式会社AHB、ジャペル株式会社、イオン九州株式会社、株式会社ユーホー、株式会社ダイユーエイト、株式会社マキバ、株式会社サンデー

③ペットオーナー検定を契機とした管理士の受講受験

募集要項を取寄せる際のアンケートに、お申し込みのきっかけを「ペットオーナー検定のテキストや受験」と申告した方334名のうち、実際に管理士の受講受験を申し込みした方は32.9%の110名となった。

④モニター受講受験の実施

愛玩動物飼養管理士通信教育について、2団体 (計29名) による、モニター受講受験を実施した。合格者16名に対してアンケートを実施した結果、8名より返信があり、仕事を

するうえで「役に立つ」「少しは役に立つこともある」との回答、職場で管理士の受講受験を「薦めたい」「どちらかといえば薦めたい」の回答はそれぞれ計7名となった。

(4) 認定委員会・教材等

①教本について

平成29年度の教本作成に向けて、内容の点検を行ない、必要箇所の修正を行なった。

②課題報告問題・認定試験問題について

1級136問、2級127問の課題報告問題および解答集を作成した。また、これを受けて、認定試験問題候補集の点検作業を行った。

③スクーリングについて

一般会場では1級30会場、2級60会場、独自（スクール）会場では1級3会場、2級18会場でスクーリングを実施した。

④受講受験生対応について

個人情報保護、および、業務の円滑化の観点から受講受験管理、認定登録のデータベースについて新規構築の準備を始めた。

⑤役員懇談会の開催

協会事業の課題等を意見交換するため、平成28年11月に役員懇談会を開催した。

(5) 愛玩動物飼養管理士事業の広報

従来から行っている全国紙や地方紙、ペット関連雑誌等への広告掲載を行うとともに、リーフレットやポスターなどの広報物を全国の自治体・図書館・学校・生涯学習センターや協力企業などへ送付した。また、『いぬのきもち』と『ねこのきもち』（合計20万部）へのリーフレットの同梱や誌面・付録の企画への協力、全国各地のイオンペット店舗でのリーフレットの配布（購入者のレジ袋へのリーフレット同梱）も実施した。このほかにも、社会の情報源がインターネットを通じた媒体に移っていることから、WEB広報としてリスティング・ディスプレイ広告及びメルマガ等を活用した広報に取組んだり、「まいにちのいぬ・ねこのきもち」アプリに告知を掲載した。また、ペットに関するあらゆる情報が集まるキュレーションサイト「PECO」への記事広告の掲載や情報提供、通信講座やスクールの紹介サイト「BrushUP 学び」での情報公開などを行った。メルマガでは、「アニコム」の契約者約20万人に対しての配信を実施した。

(6) 適正飼養の普及啓発にかかる資格制度や法制度等のあり方に関する検討

自民党の環境関係業界育成PTを中心に動物看護師の国家資格化等の動きがあるが、この動きとの調整を図りながら、愛玩動物飼養管理士の資格制度の位置付けのあり方に関する意見表明を行った。また、次の動物愛護管理法の改正に向けて、適正飼養の普及啓発がより一層推進されるような施策の検討を要望した。

(7) 上級愛玩動物飼養管理士の認定

支所協力会員のうちの9名を、上級愛玩動物飼養管理士審査会の答申を踏まえて上級愛玩動物管理士に認定することを決定した。

3) 支所との連携強化

(1) 平成28年度支所交付金

支所の活動計画に基づき下記の通り、35支所に対して交付金を支給した。

- ①4月15日—31支所
- ②5月20日— 4支所

(2) 青森県・宮城県・京都府・長野県・静岡県の支所長の公募

支所未設置または休眠中の青森県・宮城県・京都府の支所長を機関誌『with PETs』9月号で公募した結果、青森県支所長候補として2名の応募があり、そのうちの1名を青森県の新支所長として決定した。また、機関誌3月号では公募のなかった宮城県のほか、支所長改選に伴う後任募集として長野県・静岡県の実績者を公募を行った。なお、3月号での公募結果は5月末日までに通知・公表予定である。

(3) 支所長会議の開催

- ①5月18日(土) 12:30~13:30にTKP信濃町ビジネスセンターにおいて、平成28年度第1回支所長会議を開催した。当日出席した32支所の支所長に対し、ペットオーナー検定の運営・今年度の方針・スケジュールについて説明を行った。
- ②12月10日(土) 14:00~16:30に晴海グランドホテルにおいて、第2回支所長会議を開催した。当日出席した30支所の支所長に対し、平成29年度事業計画や表彰報告について説明を行った。

(4) ブロック別支所会議

下記会場において、3ブロックの支所会議を開催した。出席した支所長および上級愛玩動物飼養管理士に対し、支所活動、今後の支所の進め方、上級管理士規程(役割)、ペットオーナー検定について説明し、意見交換を行った。

- ①関西ブロック — 平成28年4月3日(日)
AP 大阪梅田茶屋町(大阪府大阪市) 出席者17名
- ②北海道・東北ブロック— 平成28年4月10日(日)
仙都会館(宮城県仙台市) 出席者6名
- ③北陸・信越ブロック — 平成28年4月17日(日) 石川県地場産業振興センター
(石川県金沢市) 出席者19名

※他4ブロックは、平成27年度に実施済み。

(5) ボランティア保険の継続加入

支所協力会員1,622名の加入手続きを行った。

4) 調査研究及び情報の収集、提供

(1) 閲覧室の蔵書の収集と提供

各種文献・学術論文等の収集と提供を行った。

5) 相談会、講習会、講演会、展示会及び調査研究発表会等の開催

(1) 電話や手紙によるペット飼養相談の受付

電話や手紙などによるペット飼養に関する相談を受け、適切な対応を行った(約70件)。

(2) 第36回全国ペット写真コンテストの開催

人とペットとのふれあいの楽しさ、動物愛護の心などが表されている写真を通じて、写す側、鑑賞する側双方の動物愛護精神の涵養を図ることを目的として、一般公募方式により「第36回全国ペット写真コンテスト」を開催した。環境省、一般社団法人ジャパンケネルクラブ、一般社団法人ペットフード協会に後援名義使用許可の申請を行った。作品は6月30日応募締め切り(当日消印有効)で、7月25日(月)開催の審査会にて116点の応募作品(応募者数58名)より13点の入賞作品を選出した。

上位入賞者表彰式は9月24日(土)、中央行事屋内会場(東京国立博物館平成館)において行い、受賞者には、賞状及び副賞として賞金、入賞作品をプリントしたトートバッグを贈呈した。入賞作品はパネルにして、9月17日(土)、屋外行事会場(上野恩賜公園内不忍池周辺)に展示した。

表彰式を欠席した上位入賞者および入選者には賞状と副賞(ペット大賞および推選は賞金と作品画像入りトートバッグ、入選はトートバッグ)を送付した。

賞名	タイトル	受賞者名	賞金
ペット大賞・環境大臣賞	仲よし	小泉 通	5万円
推選・ジャパンケネルクラブ賞	犬が取り持つ国際交流	中島 慶治	3万円
推選・ペットフード協会賞	集う	谷口 耕子	3万円
推選・日本愛玩動物協会賞	浜辺の語らい	小澤 宏	3万円

過去の入賞作品パネルは、全国の動物愛護週間行事で展示された。展示先は次のとおりである。

- ・山形県、鹿児島県、郡山市、市川市、および本協会滋賀県支所・岡山県支所・宮崎県支所

6) 調査研究活動への助成

平成29年度調査研究助成に10件の応募があり審査を行った結果、以下の5件を採択し、助成金の合計金額は160万円となった。

	研究名	氏名	所属	金額
1	近代イギリスにおけるダーウィン進化論と動物観	伊東 剛史	東京外国語大学	30万円
2	学生相談におけるイヌとヒトの唾液中オキシトシン濃度および行動解析を用いた「動物ふれあい活動」の効果評価の試み	岩田 恵理	いわき明星大学	50万円
3	伝統行事にみる犬との共生社会実現のための感性-熊本県山鹿市「犬子ひょうたん祭り」に集う人々の感性について-	中塚 圭子	人とペットの共生環境研究所	20万円
4	ペット飼養放棄要因の抽出と終生飼養サポートの検討-動物愛護協会における調査から-	濱野 佐代子	帝京科学大学	10万円
5	日本における犬用非加熱フード(ローフード)からのサルモネラ属菌検出状況調査	湯川 尚一郎	倉敷芸術科学大学	50万円

7) 機関誌等図書印刷物の刊行

(1) 機関誌『愛玩動物 with PETs』の発行

全国の図書館への寄贈を行ったほか、一部ペット同伴宿泊が可能な高輪・品川プリンスホテルやザ・プリンス箱根にて宿泊客向けに機関誌の配布を行った。

また、機関誌の裏表紙に管理士とペットオーナー検定の通信教育や入会に関する告知を掲載することで、広報も合わせて行った。

各号の特集テーマは次のとおりである。

249号（5月発行）	正しい理解が予防につながる 知っておきたい「人と動物の共通感染症」
250号（7月発行）	ペットとハイテク生活
251号（9月発行）	飼い鳥の適正飼養 ～生態・習性・歴史を理解しよう～
252号（11月発行）	人と動物のふれあい活動
253号（1月発行）	ペットと法律 ～みんなが幸せに暮らすために～
254号（3月発行）	ウサギの適正飼養

(2) パンフレット等の作成、頒布

次のとおり作成、頒布した。

広報用リーフレットについては、平成28年度5月より、管理士とペットオーナー検定を紹介する内容とした。また、ポスターについては犬バージョンと猫バージョンの2バージョンを作成した。

また、機関誌の特集号を活用して、鳥などの飼育読本の改訂・頒布を進めるための準備を行った。

パンフレット等の頒布状況（概数）

愛玩動物飼養管理士・ペットオーナー検定告知リーフレット（H28 夏期）	38,000
愛玩動物飼養管理士・ペットオーナー検定告知リーフレット（H29 春期）	42,000
愛玩動物飼養管理士・ペットオーナー検定ポスター通年用（H28 夏期）	犬・猫各 4,500
愛玩動物飼養管理士・ペットオーナー検定ポスター通年用（H29 春期）	犬 1,700・猫 4,000
ウサギの飼い方	1,400部
猫の飼い方	1,900部
人と動物の防災を考えよう	12,755部
○×クイズ 緑 問題	2,700部
○×クイズ 緑 答え	1,600部
○×クイズ 青 問題	1,900部
○×クイズ 青 答え	1,500部
○×クイズ ピンク 問題	1,900部
○×クイズ ピンク 答え	1,300部

(3) 協会ホームページ

協会ホームページより、グッズや機関誌のバックナンバーの購入の手続きができるようにバージョンアップを行った。

また、より一体感のあるサイトにするため、管理士ホームページを協会ホームページ内に組み込む準備を進めた。

8) ペットオーナー検定

賢明な飼い主のすそ野を広げるために、一般的な飼い主を対象にしたペットについての初歩的な知識等に関する検定事業（ペットオーナー検定）を支所活動の一環として、全国44会場で実施した。受験者は541名、テキストのみの購入は189冊であった。なお、受験者等のうち、協会会員の加入者は106人、2級管理士の申込み者は110名であるなど、会員拡大や愛玩動物飼養管理士資格取得者数の増加への寄与も認められたところである。

28年度ペットオーナー検定実施結果（カッコ内は合格者数）

地 域	会 場	受 験 者 数	内会員 申込者数
平成28年4月10日(日)	6会場	70 (61)	18
平成28年7月10日(日)	15会場	139 (126)	27
平成28年10月9日(日)	11会場	137 (114)	22
平成29年1月15日(日)	12会場	195 (153)	39
合 計	44会場	541 (454)	106

※その他 東洋大学ペットツーリズム 受験者数111名 合格者101名

9) 愛犬飼育スペシャリスト養成事業等（ペットの実践的な飼育方法の教育事業の一つ）（新規）

犬の飼育にあたって必要な実践的な方法を学ぶことができる教育事業の「愛犬飼育スペシャリスト講座」を、平成29年1月より開講した。受講生の募集や受付、教材の発送などの業務は（株）ユーキャンに委託のうえ実施している。こうした中、平成29年3月27日時点で739名の申込があり、36名の認定登録者があった。

1 0) 「ペットのコンシェルジュ」の養成事業（新規）

ペットの「コンシェルジュ」として適正飼養の普及啓発指導を行うことができる人材を育成するための教育事業の開始に向けた準備を、関連専門学校及び企業等の意見を聞きながら進めた。なお、本事業については、事業実施に要する費用や効果、事務局の労力などを十分に検討する必要があることから、いったん中断しているところである。

1 1) ペット共生マンションの適正化事業（新設）

ペット共生マンションの整備及び管理運営方法の適正化を推進するための事業の開始に向けた準備を、関係マンション業者及び獣医師団体等の意見を聞きながら進めた。具体的には、整備及び管理運営方法に関するガイドラインの作成・頒布、集合住宅向けの飼い主のマナーハンドブックの作成などに着手した。なお、認証事業については、事業実施に要する費用や効果、事務局の労力などを検討した結果、実施しないこととした。

1 2) 会員

会員特典を次のとおり充実させた。

概要	協力企業等
書籍の割引販売	インターズー
もういちど学ぼうプロジェクトの割引受講	本協会
トリング・ペットホテル料金の割引	西武ペットケア

ペット用品専門通販の割引購入	インターズー・クリニッククラブ
宿泊費・キャンプサイト利用料の割引	休暇村協会
ホテル・ゴルフ場・スキー場などの優待利用	プリンスホテル
入会金および年会費の寄付金控除	内閣府

1 3) 寄付金

一般会員の会費を税額控除の対象となったことから、協会のホームページ等を利用した寄付金募集を実施した。

1 4) 各種プロジェクト活動への助成

各種プロジェクト活動助成規程に基づき、愛玩動物の愛護と適正な飼養及び管理に関する公益または本協会の事業の発展に資することを目的として、①飼い主教育、②所有者明示、③公衆衛生（迷惑防止を含む）、④みだりな繁殖制限、⑤災害時対策、⑥その他の分野に関する活動に対する助成を行った。

平成28年度は下記6団体に助成することが決定した（順不同）。

①公益社団法人日本獣医師会（55の地方獣医師会）、②わうくらす、③沖縄県愛護の会、④長野県動物愛護会佐久支部地域部、⑤呉ボランティア、⑥チーム上尾

2 その他本協会の目的を達成するために行った事業

1) 関係団体との情報交換等の実施

幅広い情報の収集を図るために、関係団体との情報交換を行った。また、普及啓発活動の推進に当たって必要となる環境整備を図るため、災害時における動物救護及びマイクロチップ等による所有者明示措置等の関連事業を、関係団体との連携を図りながら実施した。

2) 「第28回日本動物児童文学賞」への審査協力

公益社団法人日本獣医師会が、次代を担う子どもたちのために、動物の愛護、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物の共生等を扱った文学作品を世に送り出すことを目的に設置した児童文学賞に対して、本協会から椎野雅博副会長が審査員として協力した。

3) 熊本地震に関連した大雨による災害の被災動物支援の主な活動

平成28年4月14・16日に大地震による災害が熊本県および大分県で発生したため、一般財団法人ペット災害対策推進協会（ペット災対協）に協力し、被災地の情報収集を開始した。九州地方の支所長と連絡をとり、避難者によるペットとの同行避難の状況、避難所の様子、現地の行政および民間団体の取り組みなどについて、ペット災対協に情報提供した。また、ペット災対協からの依頼により、物資の入手や手配の協力を行った。

5月10・26日には、環境省において「平成28年熊本地震・被災ペット対策の支援に関する情報交換会」が行われ、本協会の役職員が出席した。

4) ペット関連産業従事者に対する適正飼養の普及教育事業（新規）

ペット業界等の従事者が適正飼養の普及啓発の指導者として活躍できるようにするため、プロジェクトチームを立ち上げて研修会の開催方法などについての検討に着手した。

5) 規程等の整備

本協会規程の新設と変更を次のとおり行った。

区分	規程名	会議名	議決日
追加	上級愛玩動物飼養管理士認定規則、第2条2項	第28年度第1回定例理事会	平成28年5月9日
変更	講師選任・派遣の附則、別表(2)試験官料	第28年度第1回定例理事会	平成28年5月9日
変更	定款「役員の任期」 定款「附則」	第28年度社員総会	平成28年5月28日
新設	愛玩動物の実践的飼育手法に関する教育事業の実施規程	第28年度第5回定例理事会	平成28年12月10日
新設	著作物の利用規程	第28年度第5回定例理事会	平成28年12月10日
新設	ペット共生住宅の適正化推進事業規程	第28年度第5回定例理事会	平成28年12月10日

6) 協会が関係する外部会議及び行事

(1) 業務執行理事及び職員

会議等の名称	関係者・出席者
全国動物愛護推進協議会	協会本部役員・職員
東京都動物愛護管理審議会	協会本部役員
動物ID普及推進会議	協会本部役員・職員
動物愛護週間中央行事実行委員会	協会本部役員・職員
平成28年熊本地震・被災ペット対策の支援に関する情報交換会	協会本部役員・職員
宮城県動物愛護推進協議会	協会本部役員
東京都動物愛護推進協議会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会総会	協会本部役員
(公社) 日本獣医師会 マイクロチップ普及特別推進委員会	協会本部役員
インターペット (ペットフード協会)	協会本部役員・職員
関係各党・団体の各種意見交換会	協会本部役員
各指定校の評議員会等	協会本部役員
環境省中央環境審議会動物愛護部会	協会本部役員
日本実験動物学会セミナー	協会本部役員
マスコミ取材対応等	協会本部役員・職員

(2) 理事（業務執行理事以外）・顧問

会議等の名称	関係者・出席者
環境省中央環境審議会動物愛護部会	白井顧問

(3) 支所長

会議等の名称	関係者・出席者
公益財団法人千葉県動物保護管理協会評議員会	駒田 房江
各都道府県等の愛護関係推進協議会	各支所長
関係団体の各種意見交換会	各支所長

7) 各種行事への後援等

主催	開催時期	開催地	内容
全日本チャボ保存協会	平成28年4月	東京都	第78回チャボ全国品評会
公益社団法人日本動物病院協会、一般社団法人日本臨床獣医学フォーラム	平成28年7月	大阪府	WJVF 第7回大会
三重県	平成28年9月	三重県	平成28年度 動物愛護の絵・ポスター募集
アウトドアドッグフェスタ in 八ヶ岳実行委員会	平成28年9月	長野県	アウトドアドッグフェスタ in 八ヶ岳
動物愛護フェスティバル2015 イン松本実行委員会	平成28年9月	長野県	動物愛護フェスティバル2016 イン松本
JAHA 年次大会東京ミーティング	平成28年10月	東京都	公益社団法人日本動物病院協会
第9回 動物介在教育・療法学会学術大会	平成28年10月	東京都	特定非営利法人動物介在教育・療法学会
第16回 りぶ・らぶ・あにまるずフェスティバル2016	平成28年10月	兵庫県	公益社団法人 Knots
ペットパートナーズプログラム講習会	平成28年10月	東京都	優良家庭犬普及協会
第5回ペットとの共生推進協議会シンポジウム	平成28年11月	東京都	ペットとの共生推進協議会
動物感謝デー2016	平成28年11月	福岡県	日本獣医師会
どうする？災害時に備えたペットの救護対策—いざ、という時のための「ペットの躰」教室—	平成28年11月	和歌山県	和歌山県動物愛護推進実行委員会
ちよだ猫まつり2017	平成29年2月	東京都	ちよだ猫まつり実行委員会
平成28年度日本獣医師会獣医学術学会	平成29年2月	石川県	日本獣医師会

2017 ジャパンペットフェア	平成 29 年 2 月	大阪府	一般社団法人日本ペット用品工業会
第 9 回 日本動物大賞	平成 29 年 3 月	東京都	公益財団法人日本動物愛護協会
インターペット 2017	平成 29 年 3 月	東京都	一般社団法人ペットフード協会およびメサゴ・メッセフランクフルト (株)

8) 表彰

本協会の次の役職員等が表彰された。

理事

表彰月日	被表彰者	授与者	表彰理由
10 月 30 日	池田毅	岡山県動物愛護センター所長	功労者 (ボランティア活動)

支所・支所長および支所協力会員

表彰年月日	被表彰者	授与者	表彰理由
4 月 28 日	茨城県支所	茨城県知事	茨城土砂災害におけるペット救護への協力活動
9 月 28 日	松屋 里佳	茨城県動物指導センター所長	功労者 (ボランティア活動)
10 月 30 日	廣瀬由美子	岡山県動物愛護センター所長	功労者 (ボランティア活動)
10 月 9 日	櫻内京子	福岡県知事	功労者 (ボランティア活動)

3 役員、会議、委員会等

1) 役員等 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

(1) 役員

役員 (16)	代表理事 (1)	会 長	東海林克彦
	業務執行理事 (6)	副会長	椎野雅博、望月克夫
		常務理事	阿部剛司、浅野明子、武田和彦、長岡裕子
	理 事 (6)		飯島英恵、池田毅、崎田克康、対馬美香子、堤田治、林谷秀樹
	監 事 (3)		安部正弘、上田健治、橋本洋一
	名誉会長 (1)		小川益男
	相談役 (3)		経徳禮文、鈴木松衛、西村尚一
	顧 問 (15)		北村直人、猪俣治太郎、臼井玲子、内田美由紀、大島誠之助、川口和清、斉藤久美子、實藤憲正、鈴木登、天川九二夫、花澤公子、畠山雅子、福田真由美、山崎いく子、山田広美

(2) 認定委員会委員

委員長 林谷秀樹

委員 荒井延明、岡崎留美、臼井玲子、宇山理奈、大島誠之助、四宮勝之、対馬美香子、長岡裕子、山崎恵子

(3) 実践的飼育方法教育委員会

委員長 林谷秀樹

委員 臼井玲子、藤井仁美

(4) 調査研究助成委員会委員

(委員名は非公開)

2) 役員会等の開催

社員総会、理事会、業務執行理事会

	会議名	開催日	審議事項
①社員総会	平成28年度定時社員総会	平成28年5月28日(土)	平成27年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録承認の件、諸規則変更の件、理事、監事等に対する報酬等の総額の件、理事及び監事の選任の件
②理事会	第1回定例理事会	平成28年5月9日(月)	平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件、規程の改正について、理事に対する報酬等の総額の件、役員候補者提案の件、愛玩動物飼養管理士養成指定校の認定の件、愛玩動物飼養管理士の春期募集について、ペットオーナー検定について、各種新規事業について、熊本地震災害に係る受講受験料の減免の件
	第2回定例理事会	平成28年5月28日(土)	役職理事選任の件、代行順位の決定の件、認定委員の選任の件、次回理事会の日程について
	第3回定例理事会	平成28年7月8日(金)	愛玩動物飼養管理士及びペットオーナー検定事業について、会員数について、認定委員の追加選任の件、各種事業について(愛犬飼育スペシャリスト養成事業、ペット共生住宅の事業、各関係団体との連携・委託事業)、収支改善に向けた今後の課題について

②理事会	第4回定例理事会	平成28年11月18日(金)	中間決算及び監査報告について、上期事業報告について、各種規程について、新規事業について、収支改善に向けた今後の課題について
	第5回定例理事会	平成28年12月10日(土)	認定試験(11月)合格者の承認及び2月試験合格者の承認について、上半期中間決算及び監査報告について、規程について、支所長選任について、収支改善策について、新規事業について
	第6回臨時理事会	平成29年1月25日(水)	29年度予算及び事業計画の策定方針について、各種新規事業の見直し計画について
	第7回定例理事会	平成29年3月6日(月)	認定試験(2月)合格者の承認、29年度予算及び事業計画の承認、職員採用及び支所長の選任について、各種広報(マナーハンドブック・機関誌)について、29年度プロジェクト助成の承認、事務局の組織運営体制について
③業務執行理事会	第1回業務執行理事会	平成28年5月9日(月)	27年度事業報告及び27年度決算の件、定例理事会(第1回)の議題について
	第2回業務執行理事会	平成28年6月23日(木)	人事、組織体制等について、機関誌等について、愛玩動物飼養管理士及びペットオーナー検定事業について、予算等について、支所について、各種事業について、
	第3回業務執行理事会	平成28年7月8日(金)	第3回定例理事会の議事について、認定委員の選任の件
	第4回業務執行理事会	平成28年8月2日(火)	人事及び組織体制等について、第一四半期の決算報告について、支所長の公募の件、中央行事について、収支改善に向けた今後の課題について
	第5回業務執行理事会	平成28年9月1日(月)	職員募集の件、11月号機関誌の件、管理士の夏期申込状況、愛玩動物飼養管理士及びペットオーナー検定事業について、新規事業の予算について、支所長の公募・支所長会議について、各種事業について、収支改善に向けた今後の課題について、役員懇談会の開催の件

③業務執行理事会	第6回業務執行理事会	平成28年10月17日(月)	職員募集及び規程等について、機関誌1月号の件、愛玩動物飼養管理士及びペットオーナー検定事業について、支所長の公募の件、中間決算及び業務執行報告について、各種事業について、収支改善に向けた今後の課題について、役員懇談会の件
	第7回業務執行理事会	平成28年11月18日(土)	支所長の公募の件、冬期賞与について、人事体制について
	第8回業務執行理事会	平成28年12月9日(金)	規程について、組織体制について、業務妨害行為への対応について、機関誌等について、愛玩動物飼養管理士及びペットオーナー検定事業について、予算等について、支所について、各種事業について、調査研究助成について、愛玩動物飼養管理士試験(2月)の合格者の決定について、
	第9回業務執行理事会	平成29年1月16日(月)	新規事業の見直しについて、3月号機関誌について、支所について、
	第10回業務執行理事会	平成29年1月25日(水)	管理士教本の改訂について、予算・決算等について、新規事業の見直しについて
	第11回臨時業務執行理事会	平成29年2月10日(金)	事務局の組織体制について
	第12回業務執行理事会	平成29年2月21日(火)	29年度事業計画及び予算について、職員採用及び支所長の選任について、各種広報資料について、29年度適正飼養推進プロジェクト助成について、事務局の組織運営体制の変更について
	第13回業務執行理事会	平成29年3月6日(月)	常勤理事の退任について、人事及び給与体系について
	第14回業務執行理事会	平成29年3月29日(水)	採用人事について、顧問の事務局協力について、協会制度について

3) 各種委員会の開催

(1) 委員会の概要

委員会名	回数	審議事項
愛玩動物飼養管理士 認定委員会	3	教本作成、課題報告問題及び解答集審議、 認定試験問題作成、
実践的飼育方法教育委員会	1	愛犬飼育スペシャリスト講座のテキストの監修 愛犬飼育スペシャリスト講座の添削課題及び修了試験 の出題ポイントについて

4 支 所

平成29年3月末日現在、次の35支所を設置。

7ブロック	支 所 名
北海道・東北(3)	北海道、秋田県、福島県
関東(7)	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・信越(4)	富山県、石川県、福井県、長野県
中部(4)	山梨県、静岡県、愛知県、三重県
近畿(5)	滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国・四国(7)	鳥取県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄(5)	福岡県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
計	35支所
(注) 未設置県(10県) : 青森県、岩手県、山形県、新潟県、岐阜県、島根県、山口県、 佐賀県、熊本県、大分県	
休止支所(2府県) : 宮城県、京都府	

※ 青森県支所は29年度より発足、宮城県の支所長は公募にて募集中。

5 会員の状況(平成29年3月31日現在)(単位:名)

正会員	個人	90
	団体	10
個人一般会員		13,162
団体一般会員		14
名誉会員		1
合 計		13,277

※1級合格者の特典入会者885名含む

※28年3月末12,788 489名増加

6 職員の状況

常勤役職員の状況

(単位:名)

区 分	年度初	増 加	減 少	年度末
役 員	3	0	0	3
職 員	10	2	2	10
計	13	2	2	13

以上